

⑩ **重症度・緊急度が高い腹痛**

- ・ 重症度・緊急度が高い腹痛については、緊急手術が必要な場合もあることを念頭に医療を提供する必要があるため、**重症度・緊急度が高い腹痛**を分類することが考えられる。

2 専門性

専門的な医療が必要なもの。専門性が高い医療機関で対応が必要なもの。

① **重症度・緊急度が高い小児**

- ・ 小児では、病状が急変する可能性が高いことを念頭に、重症度・緊急度が高い小児への対応を検討することが必要であると考えられる。

<参考>

厚生労働省：重篤な小児患者に対する救急医療体制の検討会
中間取りまとめ（平成21年7月8日）

1 小児救急患者の搬送と受入体制の整備について

小児科医を構成員に含む協議会を都道府県に設置して、小児救急患者の搬送及び受入れの実施基準を定める必要がある。その実施基準の中で、消防機関が小児救急患者の緊急度や状況を確認するための基準を策定する必要がある。

小児救急患者の受入体制について、医療計画の中に明示し、住民にわかりやすく伝える必要がある。

2 小児の救命救急医療を担う救命救急センターの整備について

救命救急センターの実施要綱における小児救急専門病床の要件については、本検討会での議論に基づいた見直しが必要である。

また、小児の救命救急医療を担う救命救急センターにおける医療の質の確保や実績の評価については、今後関連する情報を集め、専門家による検討が必要となるとともに、そのような機能や評価に応じた適切な支援が求められ